

[研究ノート]

鎮守の森、史跡等の植生 (3)

一日枝神社(野田市東宝珠花)、雷電神社 (野田市西高野) —

岩 槻 秀 明

はじめに

現在、博物館周辺に点在するいわゆる鎮守の森(社寺林)や史跡の植生を調べている。鎮守の森はその地域の人々にとってとても重要な空間であり、古くから地域ぐるみで大切に守られてきた。

そのため、従来からの良好な自然環境が維持されていることが多く、「多様な生物の生活の場」としても重要な役割を担っている。今まで、博物館周辺の鎮守の森として、駒形神社及び稲荷神社(野田市木間ヶ瀬)、白山神社(野田市木間ヶ瀬)、八幡神社(野田市新田戸)の植生について調査報告を行ってきた。今回、新たに2か所について、そこに生育している植物の調査が概ね完了したので、本稿ではその結果を報告する。

今回の調査場所

【調査地1】日枝神社(野田市東宝珠花)

県道17号(通称・流山街道)と江戸川左岸堤防にはさまれた場所にある。旧東葛飾郡関宿町の中心市街地内に位置し、いちいのホール(旧関宿町役場)からも県道17号を隔ててすぐの場所にある。現地を歩いた感じでは、周辺と比べて特段に高台というわけでもなく、平坦な地となっている。県道側は日当たりが良くてよく踏み固められた裸地が広がっているが、北側から西側にかけては、ちょっとした社寺林となっている。ただ、西側の社寺林は近年大規模な

剪定が行われたようで、日当たりのよい草地と変わらない環境になっていた。

遊具が設置されており、子どもの遊び場となっているほか、地域の夏祭りの会場としても活用されている。(図1-1、図1-2)

【調査地2】雷電神社(野田市西高野)

中戸谷津と呼ばれる谷津地形の北側に位置し、やや高台となっている。周辺は水田や畑地が混在し、多少ではあるが雑木林も見られる。江戸川まで直線距離で500mもない。また、ここから直線距離で数百m北に「はやま工業団地」がある。

小さな神社であるが、高い樹木に囲まれ、境内はやや薄暗い環境になっている。

(図2-1、図2-2、図2-3)

調査期間及び調査方法

現地調査は、以下の日に行った。

1. 日枝神社

2015年 4/18 5/16 7/20
2016年 8/4

2. 雷電神社

2014年 9/18 9/21
2015年 2/21 3/29 4/9
5/15 9/3

主に自生する植物種(種子植物中心)の

記録を行った。記録方法は、前回までと同様に写真及び目視によるリストアップを基本とした。学術上必要と認められるものについては、その地の植生に影響を及ぼさない範囲で採集を行った。

1回の調査で同じ場所を最低3回まわるようにし、可能なかぎり記録漏れを防ぐようにした。

また、上記調査日以外でも、個人的な観察等で写真による記録が残されているものもあったため、それらも取り入れた。

調査結果

1. 植生の傾向

A-1. 日枝神社の社寺林

日枝神社は、江戸川堤防に面する部分及び、北側が樹林環境だが、典型的な社寺林となっている場所のごくわずかである。

境内には、イチョウやフィリアオキ、ヤエヤマブキ、カジイチゴなど明らかな植栽樹のほか、植栽由来と思われるセキショウ、フィリヤブラン、ハランなどが見られる。また、岩を組み合わせて作られた塚のような部分にサツキツツジの改良品種と思われるものやマンリョウなどが植えられているなど、庭園的要素が強い環境である。

樹林環境内は日当たりが悪く落ち葉等が堆積していて、土壤水分は保たれていた。

A-2. 日枝神社の林縁および草地

境内の南西側は、日当たりのよい草地環境となっている。土壤は適湿～やや乾燥で、ヤブヘビイチゴ、ムラサキケマン、ウラシマソウ、メアオスゲ、オオイチゴツナギなど里山環境を好む草本が多く見られた。

また、江戸川に隣接しているためか、カントウタンポポやシロバナタンポポ等堤防草地に自生する在来タンポポが見られ、河川敷を主な生育環境とするタカアザミの姿もあった。

舗装道路を隔てて江戸川堤防に接する西側林縁には、カキドオシ、ユキノシタなども見られた。

A-3. 日枝神社の裸地

この手の鎮守の森は、人々が利用する場所は、踏み固められた土が露出する環境となっていることが多く、日枝神社も例外ではない。

裸地の部分は日当たりが良いが、土壤は適湿～やや湿潤で、さわるとしっとり感じられる場所も多かった。ヒメスミレの個体数も多く、ハシカグサやツメクサ、ムシクサなど、ある程度土壤水分が保たれた環境を好む丈の低い草が見られた。その一方で、乾燥に強いハマツメクサも多数見られたが、これは、大きな通りに面していることと、周辺が市街地環境だからであろう。特筆事項として、野田市内では稀な外来種であるアライトツメクサが多く見られた。

また、このような湿った裸地を好む昆虫がハンミョウ類であるが、7月調査時には、日枝神社内でも多数のコハンミョウが跳ねているのを見ることができた。

B-1. 雷電神社の社寺林及び草地

雷電神社は、小さい神社ではあるものの、カヤやサクラ類などの大木が何本か見られた。ここのサクラは、4月上旬の調査時には花盛りをやや過ぎたくらいで、足元には散った花卉が敷き詰められていた。ただ、今回は種名の特定までには至らなかった。

全体的に樹木の本数が少なく、日当たりのよい草地環境となっている場所も多い。それを補完するためにイヌマキ等の植樹が行われていた。

スイカズラ、センニンソウ、ゴヨウアケビと言った在来のつる植物が繁茂しているほか、コバギボウシ、オオバギボウシ、ウラシマソウ、アマドコロなど、雑木林環境に自生する草本が見られた。

B-2. 雷電神社の裸地

雷電神社の入口からほこらまでの間は、他の神社と同様に踏み固められた土が露出する裸地の環境となっている。日当たりが悪くじめじめしており、ウリクサ、コナスビ、オオバコなどが見られた。

雨の当たらないほこらの軒下は土が著し

く乾燥していた。このような場所は、ありじごくの名で知られるウスバカゲロウの幼虫の生息環境として重要である。今回の調査でも、日枝神社、雷電神社ともに、ほこらの軒下に多数のありじごくを見出すことができた。

2. 植物種の確認状況

本稿執筆時(2016年12月)までの集計で、維管束植物(種子植物及びシダ植物)で確認できた種類総数は日枝神社155種、雷電神社105種だった。うち、植栽を含めた外来種数は日枝神社61種、雷電神社30種で、それぞれの帰化率は順に39.3%、28.6%だった。

希少種関連は、千葉県RLレッドリスト2009年改訂版掲載種は日枝神社1種(一般保護生物:タカアザミ)、雷電神社1種(一般保護生物:オオバギボウシ)だった。

確認した植物種のリストおよび集計状況は58~61ページに記載する。

3. 雷電神社のツルボ

雷電神社は境内の広範囲にツルボが群生し、その個体数もきわめて多かったのが特徴である。そのツルボを精査すると、典型とは異なる次の3つのタイプが混在していることが分かったので簡単に報告しておく。(写真は57ページ参照)

A. オニツルボ型

全体的に大型で、秋の開花時の草丈は軽く50cmを超える。また、花時に展開する葉は幅が広く10~15mm程度。春に展開する葉は長さ30cm程度、幅は10~15mm程度。

このような特徴を持つ型で、海岸近くに生育するものはオニツルボと呼ばれている。そのため、本稿でもリストにはオニツルボと記載したが、内陸に自生する、典型のオニツルボに比べると丈が低いなどの相違点もあり、今後分類学上の検討課題と言える。

B. コカイツルボ型

草丈や葉の幅などは、典型のツルボとほぼ同じだが、花時は花茎のみで葉がまった

く出ないのが大きな特徴である。春は葉を出す、この段階ではツルボの典型品との識別は困難である。このタイプは、堀内洋氏(1998)が小貝川で発見しコカイツルボと称して報告したものと同型である。

C. 花時の葉が短く目立たない型

草丈や葉の幅は典型品のツルボとまったく同じであるが、花時に展開する葉がきわめて短いのが特徴。野田市内の他の場所でも同様の型が見られ、採取して自宅で栽培したところ、何年も同様の形質が継続するため、遺伝的に安定している可能性がある。

主な参考・引用文献

千葉県史料研究財団編 2003年『千葉県植物誌(県史シリーズ51.千葉県の自然誌別編4)』千葉県

千葉県環境生活部自然保護課 2009年『千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009年改訂版』

環境省ホームページ内
外来生物法-特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律-
<http://www.env.go.jp/nature/intro/>

堀内洋 1998年『千葉県植物誌資料-13』
河川敷の変わり者を捜してみませんか?-
コカイトネツケバナ.(仮称)、コカイツルボ
(仮称)-、

(いわつき・ひであき 当館展示協力員)

日枝神社の地図・写真



図 1-1 神社周辺の地図

概略図で、精密なものではありません。



図 1-2 日枝神社の境内

江戸川堤防側から東の方を向いて撮影



図 1-3 アライトツメクサ



図 1-4 セキショウ



図 1-5 タカアザミ

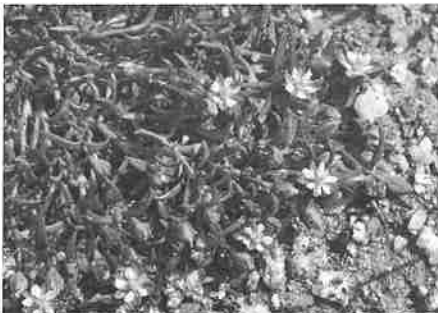


図 1-6 ハマツメクサ



図 1-7 オニマタタビ



図 1-8 ユキノシタ



図 1-9 カントウタンポポ



図 1-10 ニセカントウタンポポ



図 1-11 コハンミョウ

雷電神社の図・写真



図 2-2 雷電神社の境内

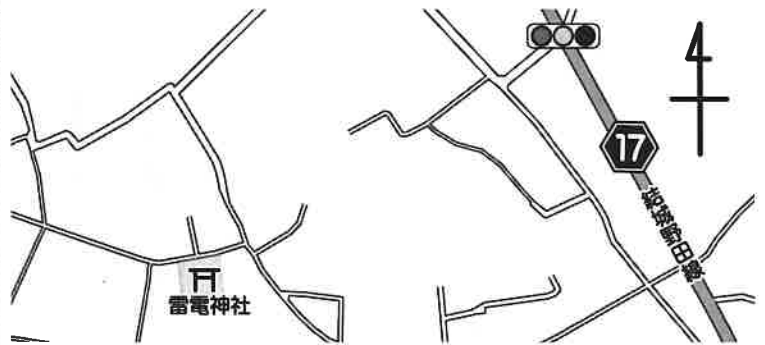


図 2-1 神社周辺の地図

概略図で、精密なものではありません。



図 2-3 雷電神社入口の鳥居



図 2-4 ほこらの軒下

ウスバカゲロウの幼虫（ありじごく）の生息環境として重要な場所となっている。



図 2-5 カヤの大木



図 2-6 ゴヨウアケビ
アケビとミツバアケビの雑種



図 2-7 コバギボウシ



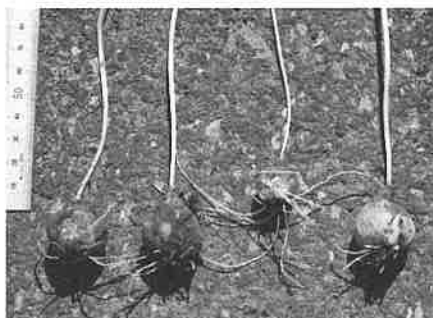
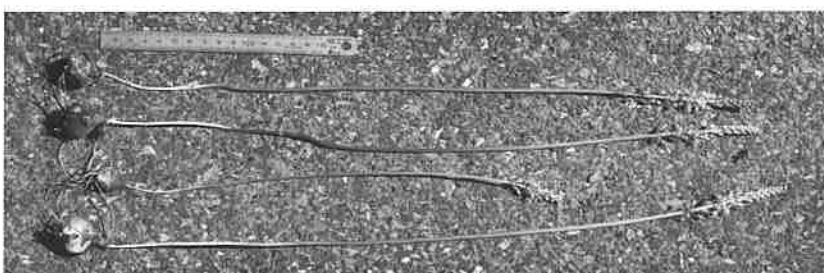
図 2-8 ショカツサイの群生

雷電神社内で確認したツルボ 3つのタイプ

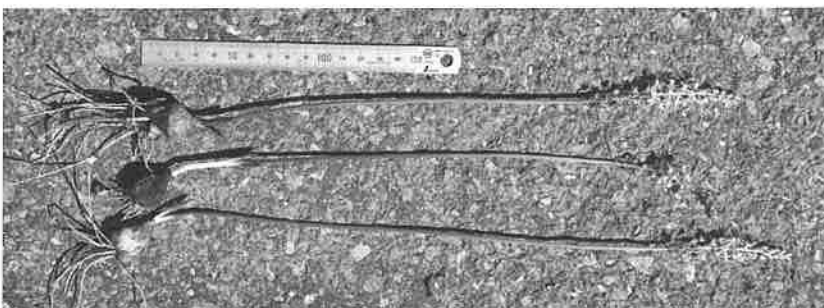
A. オニツルボ型 (全体的に大きく、葉幅は 1.0mm 以上)



B. コカイツルボ型 (秋の開花時に葉が出ない)



C. 秋の開花時の葉が短く目立たない型

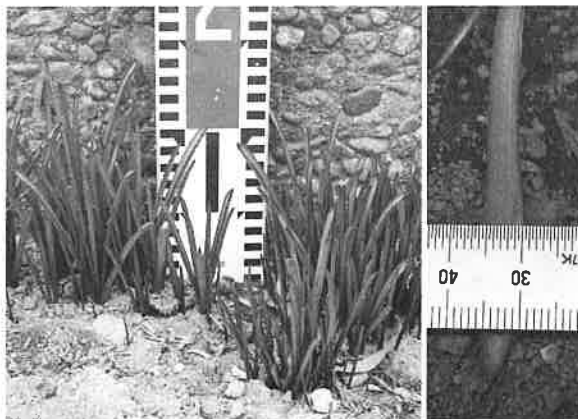


春に展開する葉の様子



Aタイプ

春の葉は長さ 30cm 程度、幅 10mm 以上



B・Cタイプの混生

春の葉は長さ 10cm 程度、幅 5mm 程度

【別表】日枝神社(野田市東宝珠花)、雷電神社(野田市西高野)で確認した植物目録

科名	No	和名	確認状況		外来	外来生物法		RL		メモ
			日枝	雷電		特 外	被害 防止L	国	県	
トクサ	1	スギナ	●	●						
イワデンダ	2	イヌワラビ	●							
イチョウ	3	イチョウ	●		○					植栽
マツ	4	ヒマラヤスギ	●		○					植栽
マキ	5	イヌマキ		●	○					植栽
イチイ	6	イチイ	●		○					植栽
	7	カヤ		●	○					植栽
ヒノキ	8	ヒノキ	●		○					植栽
	9	サワラ		●	○					植栽
	10	スギ	●	●	○					植栽
	11	カイヅカイブキ	●		○					植栽
ドクダミ	12	ドクダミ	●	●						
クスノキ	13	ゲッケイジュ	●		○					植栽
	14	シロダモ	●	●						
ショウブ	15	セキショウ	●		○					植栽由来と推定
サトイモ	16	ウラシマソウ	●	●						
ヤマノイモ	17	オニドコロ		●						
	18	ヤマノイモ		●						
シオデ	19	サルトリイバラ	●	●						
ユリ	20	ユリ属の一種		●						若苗のため同定できず ヤマユリだろうか?
ワスレグサ	21	ヤブカンゾウ		●						
ヒガンバナ	22	ナツズイセン	●		○					逸出?
ネギ	23	ノビル	●	●						
	24	ハナニラ	●	●	○		B-3			
キジカクシ	25	ハラン	●		○					植栽
	26	オオバギボウシ		●					D	
	27	コバギボウシ		●						
	28	ヤブラン	●							
	29	フィリヤブラン	●		○					植栽
	30	ジャノヒゲ	●	●						
	31	ナガバジャノヒゲ	●	●						
	32	アマドコロ		●						
	33	オモト	●							
	34	ツルボ		●						
	35	オニツルボ		●						本来の生息地は海岸である ため検討が必要と思う
ヤシ	36	シュロ	●	●	○		B-3		植栽株と野生株が混在	
カヤツリグサ	37	メアオスゲ	●							
イネ	38	アオカモジグサ	●							
	39	カモジグサ		●						
	40	ノハラズメノテッポウ	●							ズメノテッポウが畑地環 境に適応したもの
	41	イヌムギ		●	○					
	42	メヒシバ	●	●						
	43	コメヒシバ	●							
	44	オヒシバ	●	●						
	45	コスズメガヤ	●		○					
	46	ニワホコリ	●							
	47	トボシガラ		●						
	48	ケチヂミザサ	●	●						
	49	アズマネザサ	●	●						
	50	ズメノカタビラ	●							
	51	アオズメノカタビラ	●		○					

	106	ノイバラ	●	●						
	107	カジイチゴ	●		○					植栽からの逸出?
	108	ナワシロイチゴ		●						
ニレ	109	ケヤキ	●							
アサ	110	ムクノキ	●	●						
	111	エノキ	●							
	112	カナムグラ	●							
クワ	113	ヒメコウゾ		●						
ウリ	114	スズメウリ	●	●						
	115	カラスウリ		●						
ブナ	116	スダジイ	●		○					植栽
	117	シラカシ	●							
カバノキ	118	イヌシデ		●						
アブラナ	119	ナズナ	●	●						
	120	ショカツサイ		●	○					
ミカン	121	サンショウ	●							
アジサイ	122	アジサイ園芸品種群	●		○					植栽。園芸品種名不詳
ツバキ	123	ヤブツバキ	●	●						植栽株と野生株が混在
サカキ	124	サカキ	●		○					植栽
	125	ヒサカキ	●	●	○					植栽株と野生株が混在
サクラソウ	126	マンリョウ	●		○					植栽
	127	ユナスビ	●	●						
マタタビ	128	オニマタタビ	●		○			C		
ツツジ	129	サツキ園芸品種群	●		○					植栽。園芸品種名不詳
ムラサキ	130	ハナイバナ	●							
	131	キュウリグサ	●	●						
ガリア	132	アオキ	●		○					植栽
	133	フィリアオキ	●		○					植栽
アカネ	134	ヤエムグラ	●	●						
	135	ハシカグサ	●							
	136	ヘクソカズラ	●	●						
	137	アカネ		●						
ナス	138	クコ	●							
	139	ホオズキ	●	●	○					
	140	アメリカイヌホオズキ	●		○					
	141	ヒヨドリジョウゴ	●	●						
ヒルガオ	142	コヒルガオ	●		○					
モクセイ	143	ネズミモチ	●							
キツネノマゴ	144	キツネノマゴ	●							
シソ	145	ムラサキシキブ	●							
	146	クサギ		●						
	147	カキドオシ	●							
	148	ヒメオドリコソウ	●	●	○					
	149	ホトケノザ	●	●						
ハエドクソウ	150	トキワハゼ	●							
アゼトウガラシ	151	アメリカアゼナ	●		○					
	152	ウリクサ		●						
オオバコ	153	マツバウンラン	●		○					
	154	オオバコ	●	●						
	155	オオイヌノフグリ	●	●	○					
	156	タチイヌノフグリ	●	●	○					
	157	ムシクサ	●	●						
モチノキ	158	イヌツゲ	●		○					植栽
ウコギ	159	ウド	●	●						
	160	タラノキ	●							
	161	ウコギ属の一種		●						ヤマウコギかその近縁種 今回は同定できず
	162	ヤツデ	●							
	163	キツタ	●	●						

セリ	164	セリ	●						
	165	オヤブジラミ	●	●					
レンブクソウ	166	ニワトコ	●	●					
スイカズラ	167	ウグイスカグラ	●						
	168	スイカズラ	●	●					
	169	ノヂシャ	●		○				
キク	170	ヨモギ	●	●					
	171	コセンダングサ	●		○				
	172	トキンソウ	●						
	173	アメリカオニアザミ	●		○	B-3			
	174	タカアザミ	●					D	
	175	ハルシャギク	●		○	B-3			
	176	ダンドボロギク	●		○				
	177	ハルジオン	●	●	○				
	178	ヒメジョオン		●	○	B-3			
	179	ヒヨドリバナ		●					
	180	ハキダメギク		●	○				
	181	ハハコグサ	●						
	182	ウラジロチチコグサ	●		○				
	183	タチチチコグサ	●		○				
	184	チチコグサモドキ	●	●	○				
	185	オオジシバリ	●	●					
	186	カントウヨメナ		●					
	187	アキノノゲシ		●					
	188	フキ	●						
	189	ノボロギク	●	●	○				
	190	セイタカアワダチソウ	●		○	B-2			
	191	ノゲシ	●	●					
	192	オニノゲシ	●	●	○				
	193	カントウタンポポ	●						
	194	シロバナタンポポ	●						
	195	ニセカントウタンポポ	●		○	B-2			外来または交雑系タンポポの一型
	196	外来タンポポ種群	●	●	○	B-2			外来系タンポポ及び、雑種系タンポポの総称
	197	アカオニタビラコ	●	●					
	198	アオオニタビラコ	●	●					

		日枝神社	雷電神社	備 考
植物種数合計		155	105	
外来種数		61	30	植栽等含む
帰化率(%)		39.3	28.6	外来種数/植物種数合計
外来生物法関係				
特定外来生物		0	0	
被害防止L	侵入予防外来種	0	0	表中 A-1 と表記
	その他の定着予防外来種	0	0	表中 A-2 と表記
	緊急対策外来種	0	0	表中 B-1 と表記
	重点対策外来種	3	1	表中 B-2 と表記
	その他の総合対策外来種	4	3	表中 B-3 と表記
	産業管理外来種	1	1	表中 C と表記
RL(レッドリスト)関係				
国RL指定種数 合計		0	0	
県RL指定種数 合計		1	1	千葉県RL2009
一般保護生物 D		1	1	